



大阪市立 小路小学校

校長名 伊藤 浩史

所在地 〒544-0002 大阪市生野区小路2-24-40

電話 06-6752-0061 FAX 06-6751-8751

URL <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e671489>



主な学校行事

4月	入学式
5月	家庭訪問 校外学習 土曜授業 (防災・引取訓練)
6月	臨海学習
7月	期末懇談会 ラジオ体操 (PTA行事)
8月	PTA校庭キャンプ (PTA行事) 小路たそがれカーニバル (地域行事)
9月	学校公開
10月	運動会 校外学習 学習参観 就学時健康診断 修学旅行
11月	音楽発表会 (土曜授業)
12月	国際理解発表会 小路っ子マダン 期末懇談会 クリスマス会 (地域行事)
1月	卒業遠足
2月	作品展 入学説明会 学校保健委員会 小路ふゆまつり (PTA行事)
3月	卒業を祝う会 (児童会行事) 卒業式

教育目標

「つながり合い、認め合い、学び合う教育の創造」

令和3年度全国学力・学習状況調査

● 平均正答率 (%)

国語	算数
48	57

● 結果概要

大阪市の平均正答率に比べ、国語科においては15ポイント、算数科においては12ポイント大きく下回る結果となった。平均無回答率を見ても、国語科では大阪市の2倍以上、算数科では3倍近い無回答率である。国語科を見ると、全体に低い正答率であるが特にC読むことが28.3%と低く、B書くことでは、大阪市の平均正答率を17ポイント以上下回っている。算数科ではA数と計算、B図形の2領域の正答率が特に低くなっている。

令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

● 種目別平均値

性別	握力 (kg)	上体起こし (回数)	長座体前屈 (cm)	反復横跳び (回数)	20mシャトルラン (回数)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボール投げ (m)	合計得点
男子	16.95	21.55	32.73	39.18	56.33	9.01	153.18	22.10	54.76
女子	15.28	17.61	38.00	32.71	26.94	10.22	137.67	11.61	49.47

● 結果の概要

男子の結果を見ると、握力・上体起こし・シャトルラン・立ち幅跳び・ソフトボール投げの5つの項目で全国平均を大きく上回っており、体力合計点でも全国平均を2ポイント以上上回る結果となっている。一方、女子の結果を見ると、すべての項目で全国平均に及ばず、長座体前屈以外は大阪市の平均からも大きく下回っている。このように男女の差がたいへん大きい結果となっているが、その要因として、毎日の運動時間や運動嗜好の差によるもの大きいと考えられる。男子では、1週間の総運動時間が60分未満の子どもが1人であるのに対し女子では半数の9人である。また、「運動やスポーツをすることが好きですか」の問いに肯定的な回答の割合についても、男子95.5%に対し、女子66.7%という結果である。体力・運動能力の結果は日常の運動・スポーツへの関わりや意識の差によるもの大きいといえる。

標準服

無

重点目標

- 豊かな心をはぐくむ教育
 - ・安全で安心できる学校教育環境の実現
 - ・音楽を親しむ機会の創出
 - ・外国人教育 (国際クラブ・国際理解教育) の推進
- 学力向上に向けた教育
 - ・ICTを活用した教育の推進
 - ・思考力・判断力・表現力の基盤となる言語力の育成
 - ・専門性を高め、指導力を高める研修

校訓

- ・心も からだも すこやかな子ども
- ・何でも 進んでやる子ども
- ・思いやりのある子ども

● 自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

まず基本的な「言葉の力」をつけ、それが読解力や表現力へとつながるよう取組をすすめてきた。「読書タイム」や「読書コーナー」の設置や読書貯金などの読書習慣を身につけさせるための取組、「子ども新聞」を3誌購入し、「新聞閲覧コーナー」を設置して常に新聞を読むことができる環境づくりにより、文字や言葉に触れる機会を増やす取組、「日本語検定」受験に向けての取組などをすすめてきている。算数科では、計算領域について系統的に作成された「スキルアップテスト」により、子どもたちが個々の課題やつまづきを見つけられるようにした。そして、昼のモジュールタイムを活用し、学年にかかわらず自分に合った「計算練習プリント」学習に取り組むことで、基礎学力を身に付けられるように工夫してきた。また放課後学習により、基礎計算力の向上に取り組んでいる。Aドリル等を効果的に活用し、基礎・基本の定着を図るとともに、日々の授業を大切に、その質を向上させることにより、意欲的・主体的に学ぶ力の育成を目指している。

● 自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

昨年度から引き続きコロナウイルス感染防止のため、体育の学習や休み時間の運動の制限があり、思うような取組ができていない現状がある。そのような中でも、本年度は以前から本校の課題であった柔軟性 (長座体前屈) を上げることを目標に取組を進めてきた。体育の学習の初めと終わりにストレッチを取り入れるようにしている。また児童集会等でも柔軟性を高めるための運動を紹介し、家庭でも取り組めるようにする計画をしていたが、それについては集会所が実施できなかったため本年度に持ち越しとなっている。取組は不十分であったにもかかわらず、体力・運動能力調査の結果を見ると、女子では全国の平均をわずかながら上回り、男子は全国や大阪市の平均から下回っているものの、例年に比べるとその差はわずかである。今後も継続して取り組んでいきたい。また、体力・運動能力・運動習慣調査の結果分析からわかるように、運動時間や嗜好の差による体力・運動能力の差についての取組を再度本校の課題ととらえ、体育の学習や休み時間に運動好きの子どもたちを育てるための取組を進めていかなければならない。

校長先生のメッセージ

今年で創立149年目を迎える歴史の古い学校です。地域やPTAとのつながりが深く、「子どもは地域の宝」を合言葉に、地域全体で子どもを育てていこうとする地域に支えられた学校です。ICT環境が整った学校であり、一人一台端末やICT機器、Aドリルの積極的な活用を図ったり、Teamsによる双方向通信の取組を推進したりすることにより、学力向上に取り組んでいます。また、音楽発表会や音楽集会などの音楽活動にも力を入れ、心の教育にも積極的に取り組んでいます。

運営に関する計画

● 計画のエッセンス

- ・「小路あたりまえ10か条」を設定し、あたりまえのことをあたりまえにできる心の育成
- ・基礎基本の学力の定着と自己肯定感を高め、学ぶ意欲を高める授業改善
- ・音楽教育と生活指導の充実による「思いやりのある子ども」の育成

● 中期目標、年度目標等

【安全・安心な教育の推進】

- 令和4年度小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を83%以上にする。
- 令和4年度末の校内調査における「学校に行くのは楽しいと思えますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- 令和4年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 令和4年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
- 令和4年度末の校内調査における「小路あたりまえ10か条」を守ることができた」に対して、最も肯定的な「できた」と回答する児童の割合を80%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和4年度小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う

活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を30%以上とする。

- 令和4年度小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.03ポイント向上させる。
- 令和4年度小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。
- 令和4年度小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を60%以上にする。
- 令和4年度小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの対象学年も前年度より3ポイント減少させる。

【学びを支える教育環境の充実】

ICTの活用に関する目標

- オンラインによる学習を年に2単位時間以上実施する。
- 令和4年度末の校内調査における「学習者用端末を使うことができますか」に対して、最も肯定的な「できる」と回答する2年生以上の児童の割合を90%以上にする。

特色ある学習活動

■ 音楽活動の取組

本校では、日々の音楽科の授業に加え、音楽発表会(学年ごとの演奏や全校合唱など)や「本物」に触れる音楽鑑賞会など様々な取組を行っている。また、課外活動として「小路鼓笛隊」があり、活発に活動している。このような音楽活動により、子どもたちに「できた!」「楽しい!」という達成感、充実感を味わわせ、友達とかわり合い、高め合う学びの場とすることができている。



特色ある学習活動

■ 国際クラブと日本語教室

本校には国際クラブ(民族学級・中国学級)があり、学校全体で国際社会を生き抜くための国際理解教育にも取り組んでいる。さらに、近年中国をはじめ様々な国や地域にルーツを持つ子どもが入学しており、これからの国際社会の縮図として多文化共生教育にも取り組んでいる一方、日本の伝統的文化的学習にも力を入れている。また、本校には日本語教室が設置されており、本校の子どもだけでなく日本語指導が必要な他校の子どもたちも学んでいる。



家庭・地域等との連携

■ PTA、地域との連携

例年は、学校施設を利用した校庭キャンプや冬まつりなどのPTA主催行事や、小路たそがれカーニバルなどの地域主催行事などが多く行われている。コロナ禍で活動が難しい中でも、感染対策を取りながら、「星空映画観賞会」や「ラジオ体操」などが工夫して実施され、「子どもたちのために」を合言葉に熱心な活動が行われている。また、地域の方々にゲストティーチャーに招いた取組なども多く、PTAや地域とのつながりが深い。さらに、登下校の見守り活動だけでなく、集団下校時の安全確保のための協力など、本校は「子どもは地域の宝」と子どもたちを守り、そして支えてくださる地域にある学校である。

特色ある学習活動

■ スキルアップテストや日本語検定、子ども新聞を使った学習の取組

本校では、基礎基本の学力の定着を図るため、朝学の時間やモジュールタイムを活用して、算数の基礎計算や日本語検定に向けた学習、子ども新聞を読んで自分の考えをまとめる学習などに取り組んでいる。また、新聞閲覧コーナーや読書コーナーを教室前に設け、自由に読めるようにすることで、子どもたちが言葉や文章に触れる機会を多くもてるよう努めている。



家庭・地域等との連携

■ 豊富な課外活動

本校には伝統ある課外活動クラブ「小路鼓笛隊」があり、体育施設開放事業として放課後の学校施設を利用したサッカー、ミニバスケットボール、ドッジボールも行われている。また、進学中学の東生野中学校グラウンドではラグビースクールも行われている。多くの子どもたちが参加しており、多様な活動に主体的に参加することができている。

